

## 第 32 回米子市水道事業審議会 会議録

○開催時期 令和 4 年 1 月 25 日(火) ～令和 4 年 2 月 18 日(金)

○開催方法 書面会議

○米子市水道事業審議会委員（五十音順敬称略）

伊藤 徹、稲田 祐二、大山亜紀子、香川 司郎、木村泰之祐、  
清水香代子、田中 俊行、中山 寿子、長栄 素子、新田ひとみ、  
祝部 大輔、吉居 努、和田 季子

○議題 令和 4 年度米子市水道事業会計予算（案）について

○資料 1 令和 4 年度当初予算の概要  
2 令和 4 年度米子市水道事業会計予算（案）の説明

○日程 1 月 25 日 会議資料及び意見書発送  
1 月 26 日～2 月 2 日 質疑受付期間  
2 月 4 日 質疑応答（個別に Eメール、FAX で回答）  
2 月 7 日 質疑応答集及び議案に対する表決書発送  
2 月 18 日 議案の採決

○採決結果 承認 13 人、否認 0 人

○お問い合わせ先

米子市水道局計画課企画広報担当（電話 0859-32-6112）

第 32 回米子市水道事業審議会  
審議事項に係る意見

資料頁	委員の質疑・意見	回 答
概要 1	<p>料金収入の部分で夏季の多量の降雨により、料金収入が大きく落ち込んだと記されている。降雨量と料金収入の関係が良く理解できない。</p> <p>日照時間数の減少や気温の低下により、水道使用量が減少するであろうとは理解できるが、月別の料金収入と降雨量との関係において、そのような傾向がみられていたのか。新型コロナによる影響は、夏頃はひとまず落ち着いていたので大きな影響はなかったのではないかと考える。</p> <p>令和4年度の会計予算(案)に記載の編成方針の、「令和4年度予算においては、①さらなる事務事業の効率化を図るとともに、②計画(第2次米子市水道事業計画)に掲げた施策の検証、見直しに基づき進捗を図る予算編成とした。」とあるが、本予算案における①、②に該当する部分をご教示いただきたい。</p>	<p>水道事業において、雨が降ると水道使用量が減少することが解っている。このことは、本市の実績においても同様である。これは、冷凍冷蔵設備等における冷却水補給水量の減少、花木を植えられているご家庭が、散水をされないことなどが要因と考えている。</p> <p>気温、雨などの気象状況が給水収益にもたらす影響は無視できず、給水収益の予測を立てるうえで考慮すべき要因であると認識している。</p> <p>①について、R6年度からは上下営業部門の民間委託を実施する。</p> <p>②について、新規事業として石州府水源地開発事業を実施する。</p>
概要 1・3	<p>「令和4年度当初予算の概要」や「令和4年度事業計画」等で記述されている事業名「石州府水源地開発事業」は「石州府水源地転用事業」のことか。開発事業とすると転用事業の内容に誤解を招かないか。</p>	<p>工業用水道事業廃止に伴い、その一部施設を水道事業の施設として転用するための事業である。一からの開発事業ではないが、現有取水施設を上水道施設としてリニューアル(更新、再開発)するため、開発事業とした。</p>
概要 3	<p>「令和4年度事業計画」の老朽管更新事業の予算措置について、安全な水を安定的供給するために、給水収益が減少する中でも「老朽管更新事業」には前年度プラス予算を組んでいることを、「令和4年度当初予算の概要」の建設投資に記述してはどうか。</p> <p>令和4年度事業計画「米子市水道料金及び下水道使用料徴収等業務委託」についてお尋ねする。</p> <p>同業務委託は全くの新規契約(過去に料金等の徴収業務を民間委託したことがないという意)と考えてよろしいか。もしそうであれば、同委託に対する年間の支出予定額がかなり高額でもあり、今回委託契約を締結することとした事情や経緯についてお教えいただき</p>	<p>老朽管更新事業は、計画に基づき継続的に実施している事業であり、今回は、予算概要に記載する事業等については記載していないが、今後は、規模等を勘案の上、見直しを随時図る。</p> <p>【現在の委託状況及び今後について】</p> <p>現在の営業部門の委託については、水道メーター検針及び一部の料金徴収業務を個人委託しており、これらの業務も含め、窓口業務、開閉栓業務、収納業務、滞納整理業務、停水業務、電算業務を民間事業者へ新たに委託するものである。</p> <p>【経緯について】</p> <p>本市の水道事業は、持続的かつ安定的な運営のため、経費削減等に取り組んできたが、施設等の更新費用の増大及び人口減少による料金収入の鈍化等の課題から、今後の</p>

<p>概要 3</p>	<p>たい。</p> <p>また委託する事業者の選定については、プロポーザル方式によるとのことだが、選定の適性はもちろんのこと、公平性や透明性が保たれる必要がある。具体的にどのように進められるのか、もう少し詳細な説明をお願いします。</p>	<p>経営環境は厳しい状況となっている。</p> <p>「米子市水道事業経営戦略」において、R6年には純損失が発生する予測をしており、その後の料金改定が見込まれる中でお客様に納得していただけるよう、可能な限りの経営努力を行う必要がある。</p> <p>この度の業務委託は、営業部門を民間に委託することで、民間事業者の技術とノウハウの活用や徴収業務等一元化、効率化による経費削減を行おうとするものである。</p> <p><b>【プロポーザル方式による進め方について】</b></p> <p>幅広いノウハウを総合的に評価した上で選定する手段として、公募型プロポーザル方式を採用し、参加事業者を公示により広く募集する。</p> <p>価格だけではなく、業務に対する企画、技術提案や財務状況、実績等の客観的な判断ができるよう選定基準を定める。</p> <p>選定にあたっては、学識経験者を含めた委託事業者審査委員会を設置し、選定基準に規定する事項に対し、経営基盤、各業務等に関する企画及び技術提案内容等、業務提案書の記載内容の妥当性・実現性等のほか、提案見積額を総合的に審査する。</p> <p>事業者の募集条件、スケジュール、選定基準、選定結果等について、ホームページで公表し、公正性、透明性を確保する。</p>
	<p>配水管改良事業で(1)配水管などが前年比で下がっているが、老朽管更新事業や基幹更新事業などに影響はないか。</p>	<p>下水道工事等の工事に付随する負担金工事が、R4年度は減少することが大きな理由である。局独自の工事は例年同様としており、老朽管更新、基幹管路更新事業への影響はない。</p>
	<p>R4年度の事業計画のうち、新規事業の5石州府水源地開発事業について、その意義(または必要性)と予算案について説明いただきたい。</p> <p>また8米子市水道料金及び下水道使用料徴収等業務委託の予算額欄に記載の内容「令和4年度債務負担行為、限度額1,270,280千円 ※支出はR6年度から年額254,056千円を予定」について、ご教示いただきたい。</p>	<p><b>【石州府水源地開発事業について】</b></p> <p>本市における水運用の現状として、日常において水不足が発生していることはないが、近年、全国的に想定を超える災害による断水などが増えていることを踏まえ、危機管理として、新規水源開発による水量確保に向けた取組みが必要となっている。</p> <p>この取組みを進めるにあたり、以前より行っている調査で、日野川以西では新規に水源を開発することが難しいと予測され、日野川以东に限定されていること等を踏まえ、専門家の意見を伺いながら新規水源開発を検討してきた。一方で、唯一の供給先であった企業の業態変更により、供給停止となった工業用水道の水源について、①一定以上の水量が取水できる。②水質が良く、上水道に適している。などの理由から、この施設を廃棄するのではなく、不足水量を確保するために活用する方向で、上水道転用の検討をし、その効果を検証したところ、既存の施設を利用するため、配管や塩素滅菌設備など</p>

<p>概要 3</p>		<p>若干の整備が必要となるも、新規に水源開発するのに比べ、約4億円の経費削減効果があり、事業を行うこととした。</p> <p>R4年度は、取水施設を上水道へ転用するための設計業務委託と、取水を有効活用するための配水管網の整備を予定している。</p> <p><b>【米子市水道料金及び下水道使用料徴収等業務委託事業について】</b></p> <p>R4年度は、R10年度までの債務負担行為を設定する。R4年度及びR5年度は移行のための準備期間、R6年度から業務委託を開始、それに合わせて委託料が発生する契約である。</p>																						
<p>概要 4</p>	<p>戸上水源地電気設備更新事業の継続費に年割額予定で、前年度の進捗予定率が予定の38.0%より大幅に低い9.4%になった理由は、</p> <p>また、前年度の結果を踏まえて、今年度は予定の8.4%より大幅に高い37.0%となっているが、実現は可能であるか伺う。</p>	<p>戸上水源地電気設備更新事業はR3年度からR7年度までの5か年での事業展開を計画しており、継続費は年割額を事業の完成を予定している最終年度まで順次繰り越して支出を行うことができる。</p> <p>継続費の総額に対する進捗率の変動については、コロナ禍による世界的な電子部品不足により、非常用発電設備の納期がR3年度からR4年度へ延びた事に起因している。事業は予定どおりR7年度で完了する。</p>																						
<p>概要 5</p>	<p>(5)雑収益について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑収益の予算がR3年度より少なく予算化されている。この理由は何か。</li> <li>・「よなごの水」の販売代金が663千円の予算となっている。</li> </ul> <p>「よなごの水」の収支について伺う。「よなごの水」は米子市の水道水の良さを宣伝する効果と共に、現在人口減少などで収益が減る中一つの財源と考えることも出来ると思う。先日、日本海新聞のコラム「海潮音」で「よなごの水」の素晴らしさについて書かれていた。</p> <p>「よなごの水」の販売代金をアップさせるための対策を講じることはできないか。</p>	<p>雑収益の減については「よなごの水」の、販売代金（自販機分）及びふるさと納税返礼品提供分を、R3年度実績から予算見積りした結果である。</p> <p style="text-align: center;">「よなごの水」収支一覧 (円)</p> <table border="1" data-bbox="1028 871 2004 1112"> <thead> <tr> <th colspan="2">収 入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水道局が直接販売する額</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>ダイドーが設置する自販機向け販売額</td> <td>264,960</td> </tr> <tr> <td>上記災害ベンダーに係る売上手数料</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>米子市ふるさと納税返礼品に提供分の米子市負担額</td> <td>197,994</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>662,954</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1028 1145 2004 1342"> <thead> <tr> <th colspan="2">支 出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペットボトル製造委託料 (14,400本)</td> <td>1,236,400</td> </tr> <tr> <td>〃 成分規格検査料 (1回)</td> <td>5,500</td> </tr> <tr> <td>米子市ふるさと納税返礼品送料 (1,728本)</td> <td>102,600</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,344,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>販売の拡大については、現状の取水量と配水量を考慮すると、大量生産に必要な原水の確保は難しい状況にあるなど、これまでの様々な検証結果から「よなごの水」を採算ベースに乗せる事は困難と思われる。</p>	収 入		水道局が直接販売する額	100,000	ダイドーが設置する自販機向け販売額	264,960	上記災害ベンダーに係る売上手数料	100,000	米子市ふるさと納税返礼品に提供分の米子市負担額	197,994	計	662,954	支 出		ペットボトル製造委託料 (14,400本)	1,236,400	〃 成分規格検査料 (1回)	5,500	米子市ふるさと納税返礼品送料 (1,728本)	102,600	計	1,344,500
収 入																								
水道局が直接販売する額	100,000																							
ダイドーが設置する自販機向け販売額	264,960																							
上記災害ベンダーに係る売上手数料	100,000																							
米子市ふるさと納税返礼品に提供分の米子市負担額	197,994																							
計	662,954																							
支 出																								
ペットボトル製造委託料 (14,400本)	1,236,400																							
〃 成分規格検査料 (1回)	5,500																							
米子市ふるさと納税返礼品送料 (1,728本)	102,600																							
計	1,344,500																							

概要 5	料金収入の減少を前年比較で 0.54%(1,625 万円)と見込まれているが、これは今後の材料の値上げや、原油高騰による動力費の上昇も想定しての予算編成か。	材料費等は、前年比 110%程度を見込んで予算計上している。 動力費は、前年比 105%を見込んで予算計上している。
概要 5・6	1. 収益的収入 (3) 加入者納付金は、コロナ感染云々による影響とか傾向はみられないか。水道料金には納付猶予等の措置はあるのか。 2. 収益的支出 2 営業外費用中 (3) 消費税増の理由は。	過去 4 年間の状況から見て、加入者納付金の増減とコロナ禍との関連性は見受けられない。 コロナ禍により、真に生活に困窮する使用者に対し、分納等による猶予措置を設けている。 消費税増については、収益的支出及び資本的支出の減少により消費税相当額（控除税額）も減少したことによるものである。
概要 6	収益的支出について、2 営業外費用(1)支払利息及び企業債取扱諸費 136,955 千円とある。もちろん、借入れの額にもよると思うが、低金利政策により、一般には土地の購入・家屋の建築等がかなり活発になっている。 現在の支払利息の内容を伺う。	現在の未償還分における金利は、年利 5.5%~0.4%。 最高値は H3 年度債の 5.5%、最低値は H31 年度債の 0.4%。 最新の R2 年度債は 0.5%となっている。
概要 8	資本的収入における 1. 企業債の減とはどのようなことか。 今年度予算案の資本的収入の科目のうち企業債が対前年度比で 29.2%と大幅な減となっている理由は何か。	借入額は、対象となる事業費、金利状況、事業計画など勘案の上、企業債借入計画に基づき設定している。R4 年度については、前年度と比較し対象となる事業費が減少したためである。 対象となる事業費、金利状況、事業計画など勘案のうえ、企業債借入計画に基づき借入額を設定している。R4 年度については、前年度と比較し対象となる事業費が減少したためである。
概要 9	④-⑤の 490,578 千円。例年この程度の金額があるのか。	翌年度に繰越す剰余金は、各年度の純利益及び資本的収支不足額に応じ年度ごとに変動するが、収支バランスに考慮しつつ健全経営に努める。
概要 11	人件費は減となっているが、パート等職員の人件費等全ての人数を含んだものか。物件費には分類されているものはないか。 人件費の予算が年々減少している。退職する職員がいると思うが、現在の職員の昇給もある。新規採用もあるので予算はそんなに変わらないのではないのか。退職する職員数と新規採用人数が違うのか。退職者の再	人件費は、全ての職員（再任用、会計年度任用職員を含む。）を含んでいる。物件費に分類されているものはない。 人件費減については、退職・採用に伴う新陳代謝が大きく影響する。 今後も安定的、恒久的事業運営に資する人材育成と、技術継承に努力する。

<p>概要 11</p>	<p>任用もあり、賃金が低くなるということもあるかも知れないが。 「命の水」を守る水道局職員の技術、事務等々、市民にとって重要な仕事であり感謝をしている。 事業を進めるには人材が必要である。独立採算で採算性が取れなくなると民営化にも加速をするのではないかと危惧している。このまま米子市水道局として、命を守る「水」の事業運営が出来るような対策を、引き続き検討していただきたい。</p>	
<p>概要 12</p>	<p>収益的支出性質別推移で示されている人件費をみると3年連続で減少している。経費節減の努力の成果とも読めるが、真に労働生産性の向上による減少であるかが懸念される。職員に対する過度の負担によるものとする、職員の士気の低下をきたすことになり、結果として市民へのサービス低下につながることになる。安心・安全で持続可能な水道事業とするために、中長期的な視点に立った慎重な対応が必要だと考える。</p>	<p>12頁に示している人件費の減少については、R3年度とR4年度に定年退職の該当者が多く、新陳代謝による人件費の減少が主な理由である。引き続き、中長期的な視点に立った定員管理、人員配置等により、職員が最大限能力を発揮できる体制づくりと健全な事業運営に努める。</p>
<p>概要 13</p>	<p>賀祥ダム負担金の推移の記載があるが、R2年度はR元年度の約1.8倍、R3年度はR2年度の1.5倍、R3年度はR元年度の2.8倍となっているが、この変動の理由は何か。 また、他にこの様な負担金はないか。</p> <p>賀祥ダム負担金の推移について伺う。 年度によって金額が違うのは何故か。 また、6年後までの負担金の額が推定できる理由は何か。</p>	<p>R2年度から、県施工の賀祥ダム更新整備事業（賀祥ダム長寿命化計画）が、国の5か年加速化対策の対象となり、事業計画を早められたことに伴う事業費増加により、水道局負担分も増加した。 他に賀祥ダム負担金と同様なものはない。</p> <p>当該年度の賀祥ダムの管理に要する人件費、事務費、維持管理のための委託料及び修繕費、施設更新の工事費などにより負担金の額が決定される。人件費、事務費などは、経常にかかる費用であり、あまり変動はないが、維持管理に要する費用や施設更新費用は、事業費増減により変動がある。 また、県から将来にわたる計画(予算)提出を受け、局の財政計画に役立っている。</p>
<p>説明 1</p>	<p>5.石州府水源地開発事業の説明資料に水源を工業用水道事業から水道事業へ転用とあるが、この地域には水道水量が不足しているとか不安定という事からか。</p>	<p>本市における水運用の現状として、日常において水不足が発生していることはないが、近年、全国的に想定を超える災害による断水などが増えていることを踏まえ、危機管理として、新規水源開発による水量確保に向けた取組みが必要となっている。</p>

<p>説明 1</p>	<p>転用理由を明確にしていきたい。必要な事業とは思いますが過剰投資とならない様に。 また R5・R6 の配水区はどこか伺う。</p>	<p>この取組みを進めるにあたり、以前より行っている調査で、日野川以西では新規に水源を開発することが難しいと予測され、日野川以東に限定されていること等を踏まえ、専門家の意見を伺いながら新規水源開発を検討してきた。一方で、唯一の供給先であった企業の業態変更により、供給停止となった工業用水道の水源について、①一定以上の水量が取水できる。②水質が良く、上水道に適している。などの理由から、この施設を廃棄するのではなく、不足水量を確保するために活用する方向で、上水道転用の検討をし、その効果を検証したところ、既存の施設を利用するため、配管や塩素滅菌設備など若干の整備が必要となるも、新規に水源開発するに比べ、約 4 億円の経費削減効果があり、事業を行うこととした。</p> <p>※別紙 配水区域について</p>
<p>説明 2</p>	<p>事業名:8 米子市水道料金及び下水道使用料徴収等業務委託について、具体的にはどのような業務をどこにだれに委託するのかを明示いただきたい。</p> <p>8 米子市水道料金及び下道使用料徴収等の業務委託について、業務委託することに至った経過及び現状について伺う。 また、業務委託するにあたりプロポーザル方式を選択した理由は何か。 実際の業務委託支出される予算は R6 年から 5 年間となっている。債務負担行為として R4 年度にこの金額を計上するという事か。R4 年度、R5 年度のデータ移行など準備にかかる経費も入っているのか伺う。</p>	<p>【委託業務について】 水道メーター検針業務、窓口業務、開閉栓業務、収納業務、滞納整理業務、停水業務及び電算業務を委託する。</p> <p>【委託業務先について】 公募型プロポーザル方式により、業者を選定する。</p> <p>【経過及び現状について】 本市の水道事業は、持続的かつ安定的な運営のため、経費削減等に取り組んできたが、施設等の更新費用の増大及び人口減少による料金収入の鈍化等の課題から、今後の経営環境は厳しい状況となっている。 「米子市水道事業経営戦略」において、R6 年には純損失が発生する予測をしており、その後の料金改定が見込まれる中でお客様に納得していただけるよう、可能な限りの経営努力を行う必要がある。 この度の業務委託は、営業部門を民間に委託することで、民間事業者の技術とノウハウの活用や徴収業務等一元化、効率化による経費削減を行おうとするものである。</p> <p>【プロポーザル方式選択理由について】 幅広いノウハウを総合的に評価した上で選定する手段として、公募型プロポーザル方式を採用し、参加事業者を公示により広く募集する。</p>



<p>説明 2</p>		<p>価格だけではなく、業務に対する企画、技術提案や財務状況、実績等の客観的な判断ができるよう選定基準を定める。</p> <p>選定にあたっては、学識経験者を含めた委託事業者審査委員会を設置し、選定基準に規定する事項に対し、経営基盤、各業務等に関する企画及び技術提案内容等、業務提案書の記載内容の妥当性・実現性等のほか、提案見積額を総合的に審査する。事業者の募集条件、スケジュール、選定基準、選定結果等について、ホームページで公表し、公正性、透明性を確保する。</p> <p><b>【R4年度債務負担行為について】</b></p> <p>R4年度は、R10年度までの債務負担行為を設定する。R4年度及びR5年度は移行のための準備期間、R6年度から業務委託を開始し、それに合わせて委託料が発生する契約とする。</p>
<p>—</p>	<p>一番安全な飲料水は水道水と聞く。東京、広島など都市部の水道水は、無味無臭な印象がある。帰省して「甘くてうまい」という実感を味わった。米子の水は米子の宝とも思っている。これからも自慢のできる水道水の供給をお願いします。</p>	<p>今後も、米子の魅力としての安全で低廉な水道水の安定供給に努力する。</p>
<p>—</p>	<p>市町村一般会計各種の指数、財政力、公債費率等があれば、水道事業会計で用いられるものについてお示しいただきたい。</p>	<p>水道事業の経営状況を図る一般的な指数（指標）として、別添のとおり8項目が用いられる。</p> <p>※別紙 経営比較分析表及び経営指標の概要</p>
<p>—</p>	<p>米子市下水道事業との統合予定、現在の状況はどうか。</p>	<p>現在、下水道事業との連携強化の一つとして営業部門の民間委託導入の検討中であり、下水道部との統合等については考えていない。</p>
<p>—</p>	<p>12月に凍結防止の新聞広告を拝見した。引き続いて、きめ細やかな広報に努めていただきたい。</p>	<p>引き続き、費用対効果を見極めながら、様々な手法を活用し有効的な広報を行っていく。</p>
<p>—</p>	<p>米子城がテレビで取り上げられて注目されているが、「よなごの水」も何かでPR出来ないか。</p>	<p>R4年度に「よなごの水・米子城バージョン」ラベルを製作し、PRすることとしている。</p>

<p>—</p>	<p>旧庁舎の今後の取扱いは解体か？現在の維持費ほどの程度か？ 西部広域では、白浜浄水場やエコスラグセンター等の施設の取扱いで苦慮？されているようだが、水道局ではどうか。</p>	<p>旧庁舎跡地について、付属屋が1棟残存している。この付属屋は耐震化済の建物であり、その一部を倉庫として活用しているが、隣接する県道境車尾線の改良工事終了後(R12年予定)に取り壊しを行う予定としている。 維持費については、現在は付属屋に関わる電気料金のみとなり、年間約44,000円程度である。</p>
<p>—</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が、米子市の水道事業に与えた影響について、分かる範囲でお答えいただきたい。</p>	<p>観光業その他大口使用者の使用量減少などにより、給水収益への影響が見受けられる。 また、戸上水源地電気設備更新事業において、資機材の調達に遅れが発生し、工事の進捗に影響が出ている。</p>
<p>—</p>	<p>各方面で、インフラの老朽化が問題とされている昨今だが、配水管及び取水施設もその範囲に入るものとする。 今後、この問題に対する取り組みについて、どのような方針、構想を持っているか伺う。</p>	<p>管路を含む水道施設の老朽化対策は喫緊の課題として認識している。 H29年度に策定した「米子市水道事業基本計画」に基づき、耐震化を推進した管網整備、施設の統廃合を含めたダウンサイジングなどに取り組んでいるところであり、引き続き、安全な水を安定供給するための管路・施設整備に努めていく。</p>
<p>—</p>	<p>境港市、日吉津村に対し、水道管や水道事業のメンテナンス、保守点検のための維持管理費を交付金、補助金等の名目でもお願いしてもいいのではないかと。既にもらっているのであれば、記載箇所はどこか。</p>	<p>水道事業会計は、給水区域内の給水収益による運営が基本であると認識している。 各市村からの負担金は、総務省通知の繰り出し基準に基づき、消火栓維持管理経費を、その他営業収益に計上している。 審議会資料の5ページ1(4)その他営業収益をご参照いただきたい。</p>
<p>—</p>	<p>今後益々経営の合理化が進められる事と思う。 街のあり方でインフラのあり方も変わるのでその維持の仕方も住民と共有しながら考えることが今後はもっと必要になると考える。</p>	<p>ご指摘のとおり、水道局からの情報発信や、住民の皆さまの意見を事業経営に反映させることの重要性を認識している。</p>

<p>一</p>	<p>元日に放映されたテレビ番組「日本最強の城スペシャル～一度は行きたい絶景の城」において「米子城」が日本一に選ばれて、米子のもう一つの日本一「水道水の水」の話題が一部で再燃している。</p> <p>ミネラルウォーターよりも厳しい安全基準をクリアし、その美味しさでは都度上位にランクインする「米子市の水道水」。地元住民にも深く認識され、観光の目的となり、更には使い捨て容器入り飲料の利用を減らし、プラスチック廃棄物削減にも繋がるよう「最強の水道水」としてバズらなければもったいないように思う。</p>	<p>今後も、米子の魅力としての安全で低廉な水道水のPRに努力する。</p>
----------	--	--